

平成21年6月期 第1四半期決算短信

平成20年11月12日

上場会社名 (株)ブロードバンドタワー
 コード番号 3776 URL <http://www.bbtower.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員常務
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月14日

上場取引所 大

(氏名) 大和 敏彦
 (氏名) 佐藤 康夫

TEL 03-5573-8181

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年6月期第1四半期の連結業績(平成20年7月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 21年6月期第1四半期 | 2,780 | — | 83 | — | 79 | — | 68 | — |
| 20年6月期第1四半期 | 2,187 | 15.6 | 10 | △93.2 | 15 | △90.2 | 21 | △98.9 |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 21年6月期第1四半期 | 753.82 | 737.98 |
| 20年6月期第1四半期 | 233.63 | 228.04 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|-------------|-------|-----|-------|-----|--------|-----|-----------|--|
| | 百万円 | 円 銭 | 百万円 | 円 銭 | % | 円 銭 | 円 銭 | |
| 21年6月期第1四半期 | 8,756 | — | 6,265 | — | 70.2 | — | 67,469.99 | |
| 20年6月期 | 9,026 | — | 6,212 | — | 67.4 | — | 66,733.95 | |

(参考) 自己資本 21年6月期第1四半期 6,150百万円 20年6月期 6,079百万円

2. 配当の状況

| (基準日) | 1株当たり配当金 | | | | |
|------------|----------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 年間 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 20年6月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 21年6月期 | — | — | — | — | — |
| 21年6月期(予想) | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年6月期の連結業績予想(平成20年7月1日～平成21年6月30日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-------------|--------|------|------|-------|------|-------|-------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期連結累計期間 | 5,250 | 10.9 | 40 | △68.2 | 40 | △68.0 | 15 | △66.9 | 164.65 |
| 通期 | 11,350 | 16.0 | 400 | 11.7 | 380 | 8.2 | 170 | △11.3 | 1,865.98 |

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 — 社(社名) 除外 — 社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

【注】詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。】

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無

【注】詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。】

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年6月期第1四半期 98,035株 20年6月期 97,985株
 ② 期末自己株式数 21年6月期第1四半期 6,880株 20年6月期 6,880株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年6月期第1四半期 91,123株 20年6月期第1四半期 91,058株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、3ページ【定性的情報・財務諸表】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期(平成20年7月1日～平成20年9月30日)におけるわが国の経済は、エネルギー・原材料価格の高騰による影響や輸出の増勢鈍化が続いていることなどから、景気は停滞傾向にありました。

当社のおかれているインターネット市場においては、初めてFTTH(Fiber To The Home)アクセスサービス契約数がDSL(Digital Subscriber Line)アクセスサービス契約数を上回るなど、高速ブロードバンド化の浸透が着実に進んでおります。また、情報通信産業における景況感も経済全体の低迷から悪化傾向にありますが、インターネット業界を含む情報サービス業における活動指数の増加幅は微増となりました。

このような状況の中で、当社グループは、データセンターサービスを中心として、運用受託サービス、高品質ホスティングサービス「フレックスホスティング」、ならびに仮想ホスティングサービスとしてIBMオープンメインフレームサーバーのSystem Z上での仮想サーバを活用する「コレクティブホスティング」の販売を進めてまいりました。また、急速に高まるデータストレージの需要に対して次世代クラスターストレージ「Isilonシリーズ」の販売をより一層強化してまいりました。これらの既存のサービス、プロダクトの提供に加えて、新たにフレックスホスティングサービスの基盤を活用した仮想ホスティングサービス「フレックス・クイック」およびメールソリューションに代表されるアプリケーションサービスの投入、ネットワークサービスの付加価値サービスとしてインターネットからのDoS(Denial of Service attack)/DDoS(Distributed Denial of Service attack)攻撃の自動検知と防御・軽減を行うネットワークセキュリティサービス「NetGu@rd(ネットガード)」の提供を開始するなど、サービスラインアップの充実を図ってまいりました。更に連結子会社の株式会社ビービーエフにおいて、ファッション業界をターゲットにしたECシステム構築支援・運用サービスの展開を加速させてまいりました。

こうした事業活動の結果、当第1四半期における当社グループの売上高は2,780百万円(前年同期比27.1%増加)、営業利益は83百万円(前年同期比697.0%増加)、経常利益は79百万円(前年同期比427.5%増加)となりました。また、四半期純利益につきましては、平成20年8月に新株予約権戻入益を計上したことにより、68百万円(前年同期比222.6%増加)となりました。

a) コンピュータプラットフォーム事業

次世代クラスターストレージである「Isilonシリーズ」のストレージ機器販売の売上増加ならびにデータセンターの運用受託サービスにおける売上増加が牽引し、売上高は2,522百万円(前年同期比23.1%増加)となりました。営業利益は、データセンターに供給される電気代の上昇による費用の増加が発生する一方、前期より継続したデータセンター設備運用の効率化やその他の固定費削減を進めた結果、76百万円(前年同期比550.0%増加)となりました。

b) Eコマースプラットフォーム事業

連結子会社である株式会社ビービーエフにおいて、アパレル企業向けにECシステム構築支援・運用サービスを中心に提供しており、新規顧客の獲得および既存顧客へのEC販売額の増加に努めてまいりました。その結果、売上高は258百万円(前年同期比86.6%増加)、営業利益は7百万円(前年同期営業損失2百万円)となりました。

※ 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。従いまして、当第1四半期連結会計期間の連結損益計算書と前年同四半期連結会計期間の連結損益計算書とでは、作成基準が異なるため前年同期比較に関する情報は参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ270百万円減少し、8,756百万円となりました。これは、主に売上債権の減少93百万円、たな卸資産の減少106百万円及び有形固定資産の減少100百万円によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ323百万円減少し、2,490百万円となりました。これは主に買掛金の減少44百万円及び借入金の減少202百万円によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ52百万円増加し、6,265百万円となりました。これは、主に四半期純利益の計上による増加68百万円及び新株予約権の減少20百万円によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前連結会計年度末と比較して6百万円増加し、2,937百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は、285百万円となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益103百万円、減価償却費124百万円、売上債権の減少額92百万円及びたな卸資産の減少額96百万円等の増加要因に対し、仕入債務の減少額44百万円及び法人税等の支払額37百万円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、76百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出34百万円及び投資有価証券の取得による支出25百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、203百万円となりました。これは、主に長期借入金の返済による支出202百万円によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結業績は、売上高、利益ともに前年同期を上回る結果となりました。しかしながら、今後の経済全体の見通しにつきましては、当面、世界経済が減速するなかで、下向きの動きが続くとみられております。加えて、アメリカ・欧州における金融危機の深刻化や景気の一層の下振れ懸念、株式・為替市場の大幅な変動などから、景気後退の懸念が更に高まる厳しい環境が予想されます。情報産業ならびにインターネット市場においても、これらの影響により企業等の情報関連投資が控えられ、それに伴う価格競争等の激化などの懸念から不透明感がより強まるものと予想されます。こうした状況のもと、当社をとりまく事業環境においても第2四半期以降の動向に不確実な要素を含んでいると認識しておりますが、経営基盤の一層の強化と新サービスの展開や引き続き原価改善などの合理化などに取組み、予想値の達成を目指してまいります。

従いまして、第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成20年8月12日に公表しました数値から変更ありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①「四半期財務諸表に関する会計基準」等の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②たな卸資産の評価基準及び評価方法の変更

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として移動平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として移動平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。これによる損益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 当第1四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年6月30日) |
|---------------|-------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,439,293 | 2,930,676 |
| 売掛金 | 1,092,993 | 1,186,800 |
| 有価証券 | 1,498,021 | — |
| 商品及び製品 | 281,892 | 388,741 |
| その他 | 242,662 | 255,120 |
| 貸倒引当金 | △9,233 | △12,807 |
| 流動資産合計 | 4,545,630 | 4,748,530 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物(純額) | 2,506,525 | 2,567,727 |
| 機械及び装置(純額) | 356,127 | 362,531 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 699,584 | 732,906 |
| 有形固定資産合計 | 3,562,237 | 3,663,166 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 57,197 | 61,963 |
| その他 | 27,304 | 29,818 |
| 無形固定資産合計 | 84,501 | 91,781 |
| 投資その他の資産 | 563,657 | 523,358 |
| 固定資産合計 | 4,210,396 | 4,278,305 |
| 資産合計 | 8,756,026 | 9,026,836 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 459,717 | 504,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 405,000 | 405,000 |
| 未払法人税等 | 30,379 | 42,673 |
| その他 | 166,332 | 228,484 |
| 流動負債合計 | 1,061,429 | 1,180,158 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,417,500 | 1,620,000 |
| 長期設備関係未払金 | 11,698 | 14,168 |
| 固定負債合計 | 1,429,198 | 1,634,168 |
| 負債合計 | 2,490,627 | 2,814,327 |

(単位：千円)

| | 当第1四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年6月30日) |
|--------------|-------------------------------|--|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,246,861 | 2,245,991 |
| 資本剰余金 | 2,230,153 | 2,229,283 |
| 利益剰余金 | 3,021,691 | 2,953,000 |
| 自己株式 | △1,348,480 | △1,348,480 |
| 株主資本合計 | 6,150,226 | 6,079,796 |
| 新株予約権 | — | 20,589 |
| 少数株主持分 | 115,172 | 112,123 |
| 純資産合計 | 6,265,399 | 6,212,509 |
| 負債純資産合計 | 8,756,026 | 9,026,836 |

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 当第1四半期連結累計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日) |
|--------------|---|
| 売上高 | 2,780,528 |
| 売上原価 | 2,423,386 |
| 売上総利益 | 357,141 |
| 販売費及び一般管理費 | 273,492 |
| 営業利益 | 83,649 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 3,105 |
| 受取保険金 | 9,178 |
| その他 | 1,049 |
| 営業外収益合計 | 13,334 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 9,209 |
| 為替差損 | 7,996 |
| その他 | 23 |
| 営業外費用合計 | 17,229 |
| 経常利益 | 79,754 |
| 特別利益 | |
| 新株予約権戻入益 | 20,589 |
| その他 | 3,574 |
| 特別利益合計 | 24,164 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 103,918 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 18,782 |
| 法人税等調整額 | 13,396 |
| 法人税等合計 | 32,179 |
| 少数株主利益 | 3,048 |
| 四半期純利益 | 68,690 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| 当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日) | |
|---|------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 103,918 |
| 減価償却費 | 124,372 |
| のれん償却額 | 4,766 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △3,574 |
| 受取利息及び受取配当金 | △3,105 |
| 支払利息 | 9,209 |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | △625 |
| 新株予約権戻入益 | △20,589 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 92,147 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 96,099 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △44,005 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | △21,348 |
| その他 | 2,745 |
| 小計 | 340,009 |
| 利息及び配当金の受取額 | 3,065 |
| 利息の支払額 | △19,306 |
| 法人税等の支払額 | △37,783 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 285,984 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △34,493 |
| ソフトウェアの取得による支出 | △1,448 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △25,000 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 625 |
| 敷金の差入による支出 | △16,099 |
| 敷金の回収による収入 | 267 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △76,148 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 長期借入金の返済による支出 | △202,500 |
| 設備関係割賦債務の返済による支出 | △2,420 |
| 株式の発行による収入 | 1,723 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △203,197 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 6,638 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,930,676 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 2,937,315 |

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第1四半期連結累計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)

全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計額に占めるコンピュータプラットフォーム事業の割合が、いずれも90%を超えるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

当第1四半期連結累計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)

在外子会社及び在外支店がないため、記載を省略しております。

[海外売上高]

当第1四半期連結累計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)

当第1四半期連結累計期間において、海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

| 科目 | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年7月1日 至 平成19年9月30日) |
|----------------|---|
| | 金額(千円) |
| I 売上高 | 2,187,987 |
| II 売上原価 | 1,929,339 |
| 売上総利益 | 258,648 |
| III 販売費及び一般管理費 | 248,152 |
| 営業利益 | 10,495 |
| IV 営業外収益 | 11,316 |
| 1 受取利息 | 3,478 |
| 2 その他 | 7,838 |
| V 営業外費用 | 6,693 |
| 1 支払利息 | 6,242 |
| 2 その他 | 450 |
| 経常利益 | 15,119 |
| VI 特別利益 | 22,862 |
| 1 その他 | 22,862 |
| VII 特別損失 | 14,706 |
| 1 その他 | 14,706 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 23,275 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2,151 |
| 法人税等合計 | 2,151 |
| 少数株主損失 | 149 |
| 四半期純利益 | 21,273 |

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年7月1日 至 平成19年9月30日) |
|-----------------------------|---|
| 区分 | 金額(千円) |
| I 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 1 税金等調整前四半期純利益 | 23,275 |
| 2 減価償却費 | 128,029 |
| 3 のれん償却額 | 4,766 |
| 4 受取利息及び受取配当金 | △3,478 |
| 5 支払利息 | 6,242 |
| 6 持分変動損益 | △22,862 |
| 7 固定資産除却損 | 14,706 |
| 8 売上債権の増加額 | △17,924 |
| 9 たな卸資産の増加額 | △223,591 |
| 10 仕入債務の減少額 | △9,252 |
| 11 未払消費税の増加額 | 969 |
| 12 その他 | △26,518 |
| 小計 | △125,640 |
| 13 利息及び配当金の受取額 | 3,694 |
| 14 利息の支払額 | △6,109 |
| 15 法人税等の支払額 | △885,025 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △1,013,081 |
| II 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 1 有形固定資産の取得による支出 | △650,308 |
| 2 ソフトウェアの取得による支出 | △2,722 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △653,030 |
| III 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 1 長期借入れによる収入 | 700,000 |
| 2 割賦購入未払金の返済による支出 | △2,371 |
| 3 新株の発行による収入 | 1,121 |
| 4 少数株主からの払込による収入 | 42,000 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 740,749 |
| IV 現金及び現金同等物の減少額 | △925,362 |
| V 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,780,077 |
| VI 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,854,715 |

6. その他の情報

(1) 生産実績

当社グループは、生産に該当する事項がないため、生産実績に関する記載はしていません。

(2) 受注実績

当社グループは、受注生産を行っていませんので、受注実績に関する記載はしていません。

(3) 販売実績

当第1四半期連結会計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| 事業の種類別セグメントの名称 | 当第1四半期連結会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日) |
|------------------|---|
| | 金額(千円) |
| コンピュータプラットフォーム事業 | 2,522,313 |
| Eコマースプラットフォーム事業 | 258,215 |
| 合計 | 2,780,528 |

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

| 相手先 | 当第1四半期連結会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日) | |
|---------|---|-------|
| | 販売高(千円) | 割合(%) |
| ヤフー株式会社 | 1,296,158 | 46.6 |

3 上記金額には、消費税等は含まれておりません。